



平成29年4月27日

各 位

上場会社名 **アンリツ株式会社**
代表者 代表取締役社長 橋本 裕一
(コード番号 6754 東証第一部)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 CFO 窪田 顕文
(TEL 046 - 296 - 6507)

平成29年3月期 通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成28年10月27日に公表した業績予想から差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成29年3月期通期連結業績予想数値との差異 (IFRS・平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) (平成28年10月27日 発表)	87,500	2,200	1,400	1,000	1,000	7.28
今回発表実績 (B)	87,638	4,234	3,628	2,734	2,698	19.65
増減額 (B-A)	138	2,034	2,228	1,734	1,698	—
増減率 (%)	0.2	92.5	159.1	173.4	169.8	—
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	95,532	5,897	5,434	3,767	3,760	27.38

2. 修正の理由

当社グループの主力である計測事業は、スマートフォン関連市場においてここ数年にわたり顧客の投資抑制傾向が継続していますが、第4四半期において、スマホ製造ベンダーの生産能力増強のための設備投資やLTE-Advanced 関連の研究開発投資などで受注を獲得する局面があり、前回発表予想を上回る売上収益となりました。営業利益につきましては、売上収益増に伴う粗利の改善に加えて、市場停滞期への対処として経営構造改革施策を徹底したことで、前回発表予想を上回る結果となりました。

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の増加に伴い、それぞれ前回発表予想を上回りました。

(参考)

セグメント別売上収益の予想（平成29年3月期通期連結）

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) <small>(平成28年10月27日発表)</small>	今回発表実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
売上収益	87,500	87,638	138	0.2	95,532
計測	58,500	59,333	833	1.4	67,729
PQA	20,000	19,588	△412	△2.1	18,891
その他	9,000	8,716	△284	△3.2	8,910

セグメント別営業利益の予想（平成29年3月期通期連結）

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) <small>(平成28年10月27日発表)</small>	今回発表実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
営業利益	2,200	4,234	2,034	92.5	5,897
計測	500	2,130	1,630	326.0	4,706
PQA	1,400	1,302	△98	△7.0	1,194
その他	300	801	501	167.0	△3

(注)「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。